

## STAGE+を楽しむ(23)(HP 収載)

—東京・春・音楽祭—

### 1. 始めに

前報(22)に引き続き、STAGE+の試聴を実施します。

### 2. 試聴音源

今回は、東京春の音楽祭からヤン・リシエツキ&日本人ソリストたちによるブラームス作品集の演奏を選びました。

経過を述べますと、STAGE+の日本語対応のアナウンスと会見がありました。

「ドイツ・グラモフォン、高画質／音質クラシック配信サービス「STAGE+」日本版を 4/4 スタート」

<https://www.phileweb.com/news/audio/202304/04/24195.html>

「ドイツ・グラモフォン 125 年目の挑戦。映像配信サービス「STAGE+」日本上陸会見レポート」

<https://www.phileweb.com/news/audio/202304/06/24197.html>

今回の日本サービス開始を記念し、4月5日、8日には東京・春・音楽祭 2023 のプログラムのライブ中継が決定。5日にはヤン・リシエツキ&日本人ソリストたちによるブラームス作品集、8日にはキット・アームストロングによる「鍵盤音楽年代記」が配信され、その後もライブ配信や中継を毎週実施するとのことです。

そして上記のように東京・春・音楽祭 2023 のプログラムのライブ中継が行われましたので、ヤン・リシエツキ&日本人ソリストたちによるブラームス作品集の再配信を視聴しました。

プログラムは下記のとおりです。

ライブ配信 2023 年 4 月 5 日 19:00

ブラームスの室内楽 —リシエツキ&日本のソリストたち

東京・春・音楽祭 2023

1. 再配信 2023 年 4 月 6 日 3:00

2. 再配信 2023 年 4 月 6 日 9:00 (視聴)

画像はすべて日本語対応になっており、解説も日本語がついています。

「本映像は、円熟した演奏に磨きをかけ続けているピアニスト、ヤン・リシエツキと日本を代表するオーケストラ奏者たちが共演する室内楽の夕べです。毎年話題の「東京・春・音楽祭」の公演の一つで、ここではブラームスのピアノ四重奏曲第 2 番、弦

楽五重奏曲を披露。前者ではリシエツキが音楽を牽引し、親密な対話とスケールの大きさを両立した音楽がお楽しみいただけるでしょう。後者では洗練された技法とブラームスの心を掴む旋律の美しさ、繊細なハーモニー変化を見事に捉えた弦楽アンサンブルの演奏に、圧倒されるに違いありません。」

ソリスト：

ヤン・リシエツキ（ピアノ）、横溝耕一（ヴィオラ）、向山佳絵子（チェロ）  
水谷晃（ヴァイオリン）、川本嘉子（ヴィオラ）、矢部達哉（ヴァイオリン）

曲目：

ヨハネス・ブラームス 弦楽五重奏曲第2番ト長調

ヨハネス・ブラームス ピアノ四重奏曲第2番イ長調



### 3. 試聴の経過

これまでの STAGE+ の再配信は不安定でしたが、今回は、多少の音切れ、映像切れはあったものの何とか最後まで視聴できました。





音質は、仮想アースやスピーカーアキュライザーの効果も認められましたが、STAGE+のヨーロッパの主要ホールの収録と比べると劣り、日本の収録環境の問題のようです。カメラワークは通常の春祭と違って本来の STAGE+に近いものでした。このように日本のホールの演奏が STAGE+を通して視聴できることがありがたいことですが、収録音質の向上や音切れ、画像切れの解消が望まれます。2曲ともブラームスらしいメランコリックなロマンチシズムに富んだ演奏で、若いヤン・リシエツキのピアノが潑瀾としていました。

#### 4. まとめ

STAGE+配信のヤン・リシエツキ&日本人ソリストたちによるブラームス作品集は、ブラームスらしいメランコリックなロマンチシズムに富んだ演奏でした。これまでの仮想アース、MRF-005T に加えてスピーカーアキュライザーの効果も確認できました。

以上